

平成15年度 年報

事業報告

展覧会事業

・常設展

第1期 2003年4月1日(火)～6月29日(日)

前期:4月1日(火)～5月11日(日)

後期:5月13日(火)～6月29日(日)

展示室1 新潟の作家

展示室2 平面から立体へ

展示室3 前期 特集:末松正樹～スケッチと油彩画～

後期 アルブレヒト・デューラー～銅版画と木版画～

第2期 2003年7月1日(火)～9月28日(日)

前期:7月1日(火)～8月17日(日)

後期:8月19日(火)～9月28日(日)

展示室1 院展の作家たち

展示室2 前期 特集:ナビ派とその周辺

後期 特集:ケーテ・コルヴィッツ

展示室3 前期 特集:牛腸茂雄 写真集〈SELF AND OTHERS〉

後期 特集:リヴィエール

第3期 2003年10月3日(金)～12月25日(木)

前期:10月3日(金)～11月16日(日)

後期:11月18日(火)～12月25日(木)

展示室1 名所図絵

展示室2 コレクターの夢～大光・坂井コレクションより

展示室3 前期 広重 東海道五十三次

後期 三好悌吉『川とさかなたち』

第4期 2004年1月4日(日)～3月25日(木)

前期:1月4日(日)~2月8日(日)

後期:2月10日(火)~3月25日(木)

展示室1 前期 白の世界

後期 花鳥を描く

展示室2 音を感じて~絵の中の音楽~

展示室3 メモリー-亀倉雄策Ⅱ ~残された作品・遺品・資料が語るもの~

・**企画展** (詳細はトップページの「今までの展覧会」を御覧下さい。)

三代藍堂・宮田宏平展 蠟型鑄金 終りのない物語

2003年4月26日(土)~6月15日(日)

プリウレ美術館所蔵 モーリス・ドニ展

2003年7月5日(土)~8月31日(日)

新潟県立近代美術館開館10周年記念 大倉集古館名品展

2003年10月18日(土)~11月30日(日)

県民の美の財産—新潟県立近代美術館コレクション 10年の歩み

2004年1月8日(木)~3月21日(日)

・**共催展**

第58回新潟県美術展覧会長岡展(新潟県立近代美術館)

2003年6月20日(土)~28日(木)

第34回新潟県ジュニア美術展覧会

長岡展 平成15年12月14日(日)~12月25日(木)

普及事業

・**新潟県立近代美術館巡回ミュージアム**

当館の収集活動の成果を披露するとともに、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興をはかるために所蔵作品より約30点の作品を選定し実施した。

- ・ギャラリー六日町 10月3日(金)～10月13日(月)
- ・胎内パークホテルギャラリー 10月17日(金)～10月26日(日)
- ・名立町役場 11月8日(土)～11月17日(月)

講演会等のイベント

<講演会等>

5月18日(日) 午後2時～

トークショー 宮田宏平&山根基世

トーク 宮田宏平(出品作家)

山根基世(NHKアナウンサー)

7月19日(土) 午後2時～

モーリス・ドニ展講演会

講師 本江邦夫氏(府中市美術館長)

演題「愛と祈りの画家」

8月16日(土) 午後1時30分～

映画鑑賞会関連講演会

講師 三浦和人氏(写真家)

演題「写真集「SELF AND OTHERS」はいかに形成されたか

映画「SELF AND OTHERS」におけるリアリティはどこから来るのか」

10月26日(日) 午後2時～

大倉集古館名品展講演会

講師 砂川幸雄氏(作家)

演題「大倉喜八郎の思想と趣味」

11月 8日(土) 午後2時～

大倉集古館名品展講演会

講師 田辺三郎助氏(町田市立博物館長／大倉集古館顧問)

演題「大倉集古館と東洋美術」

2月11日(祝・水) 午後2時～

県民の美の財産 学芸員によるトーク

トーク 小見秀男(当館学芸課長)
宮崎俊英(当館学芸課長代理)
宮下東子(当館主任学芸員)
進 行 中嶋均(当館学芸課長代理)
テーマ「映像で辿る近代美術館の10年①1993～1998年」

3月13日(土) 午後2時～
県民の美の財産 学芸員によるトーク
トーク 小見秀男(当館学芸課長)
佐々木奈美子(当館主任学芸員)
松矢国憲(当館主任学芸員)
進 行 中嶋均(当館学芸課長代理)
テーマ「映像で辿る近代美術館の10年②1999～2002年」

<ワークショップ>

5月3日(土) 午前10時～12時
びじゅつ☆体験隊「てんびんでアート」
内 容 「宮田宏平展」を鑑賞し、その感動をもとに天秤型の作品を制作

5月25日(日) 午前10時～11時30分
びじゅつ☆体験隊「ならべてならべて描いてみよう」
内 容 屋外の芝の上に段ボールチップを並べて大きな絵を描く。

7月13日(日) 午前10時～11時
発見!びじゅつかん「シリーズ展示の秘密<展示の高さ・間隔>」
内 容 学芸員がどのような工夫をして美しい展示をしているか体験的に考える。

8月10日(日) 午前10時～午後1時
びじゅつ☆体験隊「昆虫をつくろう!」
内 容 段ボール等を使って、空想の生きものを含めた昆虫を作る工作。

9月6日(土) 午前10時～
美術館を楽しもう「親子で合作!」
内 容 子供が作品を、親がそれに合う額を制作し、美術館の企画展示室に一定期間展示。

9月7日(日) 午前10時～午後2時

美術館を楽しもう「大怪獣を作ろう！」

内 容 美術館の広い空間を利用し、段ボール等様々な材料を使って、普段はできないような大型の作品を制作し、展示室に展示。

9月9日(火)～15日(月) 午前9時～午後5時

美術館を楽しもう「私もあなたもアーティスト」

内 容 9月6・7日に実施した作品の展示とともに、会場に当館所蔵品のコピーを置いて、自由に色をつける。できたものは展示。

9月21日(日) 午前10時～11時

発見！びじゅつかん「美術館の“部分”発見」

内 容 美術館の部分(屋内、屋外)を写した資料をもとに、その“部分”がどこにあるのか、どの位置から見たものか発見する。

12月7日(日) 午前10時～11時

歩いて発見！びじゅつかん「め・い・ろ な 美術館」

内 容 館のバックヤードを巡ることで美術館の構造を学び、会場作りの体験をする。

<ミュージアムコンサート>

8月23日(土) 午後2時～3時10分

モーリス・ドニ展コンサート

～フランス象徴主義の夢～

出演 佐藤園子(ピアノ) 波塚和子(朗読)

<映画鑑賞会>

第1回 7月 5日・26日・8月16日(土)

アート・ドキュメンタリー『SELF AND OTHERS』 ※ビデオ上映

第2回 9月13日(土)

アート・ドキュメンタリー『CHERE LOUISE～親愛なるルイーズ』 ※ビデオ上映

第3回 10月18日(土)

『野良犬』

第4回 12月13日(土)

アート・ドキュメンタリー『落水荘 ライトと弟子たち』 ※ビデオ上映

第5回 1月10日(土)

名作！！『キートンの大列車強盗』

第6回 2月14日(土)

巨匠の名画 加藤泰監督『緋牡丹博徒・お竜参上』

<美術鑑賞講座>

第1回 5月10日(土)午後2時～

「宮田宏平～その人と作品」

講師 小見秀男(当館学芸課長)

第2回 11月1日(土)午後2時～

「大倉集古館の近代日本画～ローマ開催日本美術展の日本画を中心に」

講師 宮下東子(当館主任学芸員)

第3回 11月29日(土)午後2時～

「深澤素一の版画」

講師 松矢国憲(当館主任学芸員) 聴

第4回 12月6日(土)午後2時～

「パリの中世～石と光の芸術」

講師 平石昌子(当館主任学芸員)

第5回 1月17日(土)午後2時～

「木版画の100年～19世紀から20世紀にかけて」

講師 桐原 浩(当館主任学芸員)

第6回 1月24日(土)午後2時～

「描かれた油彩画の意味～江漢から由一へ」

講師 中嶋 均(当館学芸課長代理)

第7回 1月31日(土)午後2時～

「メモリー亀倉雄策～遺品と資料」

講師 麻績勝広(当館主任学芸員)

第8回 2月7日(土)午後2時～

「大正期の挿絵画家たち」

講師 小西珠緒(当館美術学芸員)

第9回 2月21日(土)午後2時～

「リアリズムとは?～画家と社会をつなぐもの」

講師 澤田佳三(当館主任学芸員)

第10回 3月6日(土)午後2時～

「亀倉雄策と建築」

講師 宮崎俊英(当館学芸課長代理)

<館長による美術史連続講座> 講師 水野 敬三郎(当館館長)

第1回 10月4日(土)

「法隆寺五重塔塑像～塑像の技法と塑山水壁」

第2回 10月25日(土)

「興福寺十大弟子・八部衆像～脱活乾漆の技法と甲(よろい)の形」

第3回 11月22日(土)

「東大寺華堂の諸像～天平彫刻の完成と纏欄彩色」

<特別講座>

5月31日(土)午後2時～

「前川誠郎のデューラー講義」

講師 前川誠郎(当館名誉館長)

<刊行物>

平成15年度展覧会案内リーフレット

仕様:A4版三つ折り

発行部数:60,000部

各展覧会図録

◇三代藍堂・宮田宏平展 図録

仕様:A4 版変形 本文 183 頁

発行部数:2,000 部

◇大倉集古館名品展 図録

仕様:280×225mm 本文 139 頁

発行部数:2,000 部

◇県民の美の財産—新潟県立近代美術館コレクション 10 年の歩み 所蔵品目録

仕様:280×215mm 本文 286 頁

発行部数:1,200 部

巡回ミュージアム 鑑賞の手引き

—もっと気軽にアート—

仕様:B6 版 16 頁

発行部数:4,000 部

新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」

◇第 20 号

仕様:A4 版 6 頁

発行部数:4,000 部

発行日:平成 15 年 4 月 1 日

◇第 21 号

仕様:A4 版 6 頁

発行部数:6,000 部

発行日:平成 15 年 9 月 1 日

企画展鑑賞資料

◇宮田宏平展 鑑賞資料

発行部数:5,000 部

仕様:A4 版 二つ折り

紀要

◇新潟県立近代美術館 研究紀要 第 6 号

発行部数:500部

仕様:A4版 本文46頁

年報

◇新潟県立近代美術館 年報 平成14年度

発行部数:500部

仕様:A4版 本文82頁

<作品解説会等>

宮田宏平展

5月17日(土) 解説会・サイン会(宮田宏平)

5月31日(土) 解説会・サイン会(宮田宏平)

6月14日(土) 解説会・サイン会(宮田宏平)

6月15日(土) 解説会・サイン会(宮田宏平)

モーリス・ドニ展

7月 6日(日) 作品解説会(平石昌子)

7月 13日(日) 作品解説会(宮崎俊英)

7月20日(日) 作品解説会(平石昌子)

7月27日(日) 作品解説会(宮崎俊英)

8月 3日(日) 作品解説会(平石昌子)

8月 10日(日) 作品解説会(宮崎俊英)

8月 17日(日) 作品解説会(平石昌子)

8月24日(日) 作品解説会(宮崎俊英)

8月31日(日) 作品解説会(平石昌子)

大倉集古館名品展

10月19日(日) 作品解説会(宮下東子)

11月2日(日) 作品解説会(長嶋圭哉)

11月9日(日) 作品解説会(澤田佳三)

11月 16日(日) 作品解説会(澤田佳三)

11月23日(日) 作品解説会(長嶋圭哉)

11月30日(日) 作品解説会(宮下東子)

11月22日(日)~30(日) 《夜桜》鑑賞タイム

県民の美の財産展

会期中毎週日曜日、学芸員が作品解説会をおこなった。

<ハイビジョンシステム>

当館では、所蔵品展示の他に所蔵作品を通して美術についての理解を深めるため、ハイビジョンシステムを導入し、無料で利用できるサービスを行っている。このシステムは、ハイビジョンとして記録された映像番組を端末装置により自由に選択し、110インチ大型ハイビジョン画面と60インチハイビジョン画面のそれぞれで映写し鑑賞することができるものである。

データベースシステムは、高品位映像と文字情報による収蔵作品の検索システムであり、作品画像と検索データは18インチ液晶モニターで見ることができる。平成14年6月に全面的にリニューアルし、1台から2台に増設した。

【ハイビジョンギャラリー】

ギャラリーⅠ

110インチの大型画面 40席

ギャラリーⅡ

60インチの中型画面 4席(車椅子スペースあり)

【データベース】

文字情報は印刷可能

検索は作家名による検索、作品名による検索

全1766作品

※平成15年度新規入力データ72作品

【ハイビジョンギャラリー上映番組】

●新潟県立近代美術館オリジナル番組 10タイトル

(ギャラリーⅠ、Ⅱ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 カリアティードとアトラント | オーギュスト・ロダン |
| 2 新しい絵画への予言 | ポール＝エリー・ランソン |
| 3 創造と抵抗のはざままで | ケーテ・コルヴィッツ |
| 4 日本洋画の開拓者たち | 大光コレクション |
| 5 近代日本洋画の黎明 | 小山正太郎とフォンタネージ |

- | | | |
|----|--------------------|-------|
| 6 | 北蒲原に生きた画家 | 佐藤哲三 |
| 7 | 館所蔵作品に見る近代日本画の画家たち | |
| 8 | 内なる心の美 | 土田麦僊 |
| 9 | 情熱と行動の画家 | 横山操 |
| 10 | 蠟型鑄造の世界 | 新潟の金工 |

- オルセー美術館Ⅰ
- オルセー美術館Ⅱ
- オルセー美術館Ⅲ
- フィレンツェ・ルネサンス
- エルミタージュ美術館Ⅰ
- エルミタージュ美術館Ⅱ
- 連作の魅力

その他上映可能なメディア(ギャラリーⅠ、Ⅱ)

ハイビジョンVTR、ハイビジョンLD、ハイビジョン衛星放送

案内画面(ギャラリーⅠ、Ⅱ)

展覧会の案内やイベント等を情報表示画面により利用者に告知

収集・保存

平成15年度収集作品

◆表中の * 印の作品については、新潟県立万代島美術館が収集業務を担当した。

「世界の美術」

版画 エドゥアール・ヴエイヤール 版画集『風景と室内』 1899刊行(1896～99制作) カラーリトグラフ(表紙+12枚) 38.0×31.0～60.4×44.8(紙寸) 購入

油彩画他 ベン・ニコルソン Painting 1946 1946 油彩、キャンバス 42.5×43.5 分類替え(資料から作品へ)

油彩画他 マリノ・マリーニ 馬 1953 テンペラ(裏打ち) 44.0×64.0 分類替え(資料から作品へ)

水彩画 パブロ・ピカソ テーブルの上のギターと楽譜 1920 グアッシュ 25.5×19.6 分類替え(資料から作品へ)

水彩画 マリノ・マリーニ 騎手 1950 水彩 48.0×33.4 分類替え(資料から作品へ)

彫刻 マリノ・マリーニ 騎手のための構想・習作 1955 ブロンズ 57.0×35.0×24.0 分類替え

(資料から作品へ)

彫刻 アルナルド・ポモドーロ 予言 1983 ブロンズ 17.9×29.8×34.5 分類替え(資料から作品へ)

立体 イサム・ノグチ 女(リシ・ケシュにて) 1956 鋳鉄 35.5×44.0×22.0 分類替え(資料から作品へ)

工芸 ルーシー・リー 鉢 1960年代 磁器 径13.0×高8.5 分類替え(資料から作品へ)

「日本の美術」

日本画 尾竹竹坡 梧桐 1911(明治44) 紙本彩色、六曲一双屏風 各156.0×361.0 購入

日本画 尾竹国観 巴 1930(昭和5) 絹本彩色、額装 233.0×172.0 購入

*日本画 林潤一 緑韻菫々 1985(昭和60) 紙本着色、額装 225.0×177.0 寄贈

*日本画 林潤一 罌粟花(春) 1998(平成10) 紙本着色、額装 230.0×125.0 購入

*日本画 林潤一 山百合(夏) 1998(平成10) 紙本着色、額装 230.0×125.0

*日本画 林潤一 鶏冠花(秋) 1998(平成10) 紙本着色、額装 230.0×125.0

*日本画 林潤一 冬牡丹(冬) 1999(平成11) 紙本着色、額装 230.0×125.0

*日本画 大野俊明 宵の星 1989(平成元) 岩絵具、水干絵具、墨、麻紙、額装 162.0×388.0 購入

*日本画 八木幾朗 魚図 1980(昭和55) 岩絵具、墨、銀箔、紙、パネル装 180.0×1440.0 購入

*日本画 斉藤典彦 Rites of Passage 2000(平成12) 岩絵具、膠、雲母麻紙、パネル装 335.0×260.0 購入

*日本画 岡村桂三郎 泉 2003(平成15) 岩絵具、パネル8枚組 295.0×960.0 購入

*日本画 日高理恵子 空との距離Ⅱ 2002(平成14) 岩絵具、麻紙、パネル装 240.0×240.0 購入

*日本画 菅原健彦 円形のジャングルジム 1993(平成5) 箔、岩絵具、顔料、膠、パネル装 243.3×488.0 購入

油彩画他 海老原喜之助 市場 1937(昭和12) 油彩、板 33.0×24.0 分類替え(資料から作品へ)

油彩画他 阿部展也 O-Roma 1964(昭和39) エンコースティック 40.0×29.5 分類替え(資料から作品へ)

油彩画他 堂本尚郎 黒い太陽-W 1973(昭和48) アクリル、キャンバス 80.0×80.0 分類替え(資料から作品へ)

*油彩画他 中村一美 死を悼みて濡れた紫の水瀬に立つ者V 2003(平成15) アクリル、綿布 300.4×240.3 購入

*油彩画他 福田美蘭 ぶれちゃった写真(アムステルダム国立美術館) 2003(平成 15) アクリル、パネル 181.8×227.2 購入

*油彩画他 福田美蘭 ブッシュ大統領に話しかけるキリスト 2002(平成 14) アクリル、パネル 130.3×162.0

平面 高松次郎 影(カギ) 1972(昭和 47) 油絵具、板、金具 7.9×33.1×23.8 分類替え(資料から作品へ)

*写真・平面 森村泰昌 Death of Father 1991(平成 3) カラー写真に透明メディウム、額装 266.0×346.0 購入

彫刻 有元利夫 無題(婦人像) 1986(昭和 61) 木彫、乾漆、手彩色 13.0×11.5×24.5 分類替え(資料から作品へ)

彫刻 有元利夫 無題(騎馬像) 1986(昭和 61) 木、乾漆、アクリル絵具 11.2×21.8×26.0

*彫刻 舟越直木 Chuckwill's Widow 1993(平成 5) ブロンズ 65.0×200.0×145.0 鉄製台座 85.0×153.0×166.0 購入

工芸 宮田宏平 縞絵 1979(昭和 54) 蠟型鑄金、白銅 47.5×17.5×17.5 購入

工芸 宮田宏平 終りのない物語「月下独酌 唐・李白に捧ぐ」 1991(平成 3) 鑄金、アルミニウム、アクリル、黄銅 42.5×12.0×13.3

工芸 宮田宏平 終りのない物語「世阿弥の流人箱」 1993(平成 5) 蠟型鑄金、アルミニウム、プラスチック、縄他 14.0×29.0×20.0

工芸 宮田宏平 ペンダント 海の城 1960~70年代 蠟型鑄金、銀、真珠 2.5×3.5×3.5

工芸 宮田宏平 指輪 美豆波乃女 1970~80年代 蠟型鑄金、金 2.5×5.0×3.5

工芸 宮田宏平 指輪 美豆波乃女 1970~80年代 蠟型鑄金、金 3.0×6.5×3.0

工芸 宮田宏平 指輪 美豆波乃女 1970~80年代 蠟型鑄金、金 2.5×10.5×3.5

工芸 宮田宏平 ブローチ 花籠 1980~90年代 蠟型鑄金、銀 7.0×5.5×2.0

工芸 宮田宏平 伝承 1968(昭和 43) 鑄金、アルミニウム 44.7×22.5 寄贈

工芸 宮田宏平 ブローチ 秘境 1980~90年代 蠟型鑄金、金 5.0×7.0×2.0

工芸 宮田宏平 指輪 夜もすがら 1980~90年代 蠟型鑄金、金 2.5×11.5×2.5

工芸 宮田宏平 ペンダント お話 1980~90年代 蠟型鑄金、銀 6.0×7.0×1.3

工芸 宮田宏平 ペンダント 銀の蔦 1980~90年代 蠟型鑄金、銀 7.5×2.5×1.0

工芸 宮田宏平 ペンダント 思ひ思ひに 1980~90年代 蠟型鑄金、銀 7.0×2.3×1.0

工芸 宮田宏平 指輪 美豆波乃女 2003(平成 15) 蠟型鑄金、金 3.0×7.5×3.5

工芸 宮田宏平 指輪 美豆波乃女 2003(平成 15) 蠟型鑄金、金 3.5×7.0×3.0

版画 浜口陽三 レモンとサクランボ 1959(昭和 34) メゾチント 20.9×20.3 分類替え(資料から作品へ)

版画 池田満寿夫 空の部分(2) 1967(昭和 42) ドライポイント、メゾチント 30.8×26.6 分類替え(資料から作品へ)

素描 土田麦僊 巴里の女スケッチ 1922~23頃(大正 11~12頃) 紙、鉛筆、額装 48.0×30.5

購入

素描 海老原喜之助 魚市 1935頃(昭和10頃) 水彩、鉛筆、色鉛筆 20.9×14.8 分類替え(資料から作品へ)

*デザイン 仲條正義 仲條のフジのヤマイ 2002(平成14) 紙、印刷、シート(36枚) B1 寄贈

*資料 仲條正義 仲條のフジのヤマイ 2002(平成14) 紙、印刷、パネル貼り(32枚)B0 20枚 B1 12枚 寄贈

資料 亀倉雄策 関連資料4箱分 寄贈

「新潟の美術」

日本画 岩淵芳華 理科室 1940(昭和15) 紙本彩色、軸装 165.0×141.0 購入

*日本画 長谷部権次呂 河岸の家 2002(平成14) 紙本着色、額装 224.0×164.0 寄贈

*日本画 穂苅春雄 大河渡る 2002(平成14) 紙本着色、額装 219.5×174.5 購入

◆表中の * 印の作品については、新潟県立万代島美術館が収集業務を担当した。

収集担当別作品点数

	新潟県立近代美術館		新潟県立万代島美術館		両館合計点数
分野	各領域点数	合計点数	各領域点数	合計点数	
世界の美術	油彩画他 2(分類替2) 水彩画2(分類替2) 版画 13 彫刻2(分類替2) 立体1(分類替1) 工芸1(分類替1)	21(分類替8)		0	21(分類替8)
日本の美術	日本画2 油彩画他3(分類替3) 平面1(分類替1) 版画2(分類替2) 彫刻2(分類替2) 工芸 16(寄贈8)	29(寄贈9)(分類替9)	日本画 11(寄贈1) 油彩画他3 写真・平面1 彫刻1 デザイン 36(寄贈 36) 資料 32(寄贈 32)	84(寄贈 69)	113(寄贈 78)(分類替9)

	素描2(分類替1) 資料1(寄贈1)				
新潟の美術	日本画1	1	日本画2(寄贈1)	2(寄贈1)	3(寄贈1)
総合計		51(寄贈9)(分類替17)		86(寄贈70)	137(寄贈79)(分類替17)

調査・研究

研 修

第11回美術館・歴史博物館学芸員専門研修会(第2年次)

「公私立の美術館・歴史博物館の学芸員や学芸業務を担当する専門職員等を対象に、学芸業務に関する専門的知識・技能の向上を図る研修を行い、もって美術館・歴史博物館の活動の充実に資する」

以上の趣旨により開催された研修に、当館から学芸員1名が参加した。

内 容

基礎科目

- I. 文化行政(美術館・博物館と文化財／美術館・博物館に係る税制)
- II. 美術館・博物館の現状と展望(海外の博物館の現状(イギリス)／日本の博物館の現状と課題)
- III. 美術館・博物館の事業活動(デジタル・アーカイブの現状と展望／学びの場としての美術館・博物館)
- IV. 展示(展示の考え方と実際 I (油彩画)／展示の考え方と実際 II (日本画)／梱包の科学)
- V. 保存・修復(修復の考え方と実際 I (油彩画)／修復の考え方と実際 II (日本画)／梱包の科学)
- VI. 美術館・博物館と著作権(著作権と著作隣接権／ITと著作権の現状)
- VII. 実地研修等(研究討議 II (分科会)／研究討議まとめと全体会 II)

施設見学等

会 期:平成16年1月26日(月)～1月30日(金)

主 催:文化庁、独立行政法人国立美術館国立西洋美術館

会 場:国立西洋美術館

参加者:松矢国憲(当館主任学芸員)

研究紀要の発行

研究紀要第6号

内 容:

小西珠緒:

宮田宏平のアクセサリーについて(聞き書き)

麻績勝広:

当館に寄贈された亀倉雄策関連資料の調査について